

# でんさい利用企業からの事例紹介

 関東建設工業株式会社

2017年5月29日

# 目次

---

1. 企業概要
2. 事業紹介
3. でんさい導入前の支払方法
4. でんさい導入の理由
5. でんさい本格稼働に向けての取組み
6. でんさい導入による効果
7. 良かった点
8. 苦労した点と対応
9. 最後に



# 1.企業概要

---

- ・商号 関東建設工業株式会社
- ・本社住所 群馬県太田市飯田町1547  
OTAスクエアビル7F
- ・URL <http://www.kanto-k.co.jp/>
- ・事業内容 総合建設業
- ・代表者 代表取締役社長 高橋 明
- ・売上高 620億円（平成27年度実績）
- ・従業員数 285名
- ・支社等 国内10か所、海外3か所



(本社ビル)



関東建設工業株式会社 2

## 2.事業紹介

---

群馬県農業技術センター



太田市民会館



第55回BCS賞・平成26年伊勢崎景観まちづくり賞を受賞

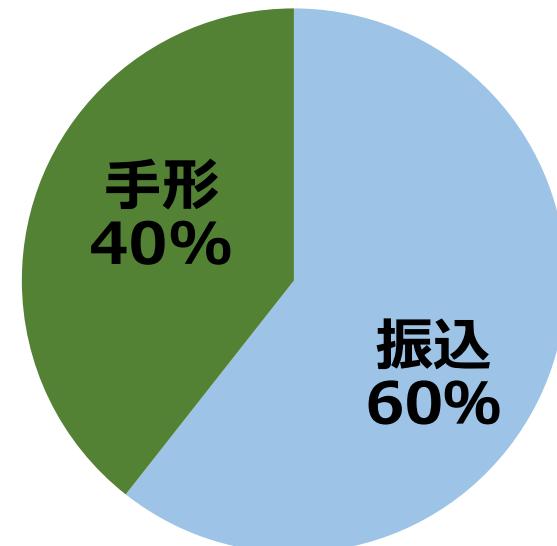
### 3.でんさい導入前の支払方法

- 銀行振込による支払件数・・・60%
- 約束手形による支払件数・・・40%（約260先）

#### 1ヶ月あたりの支払件数

- 振込 400件
- 手形 260件

印紙代 年間約 400万円  
手形帳購入費 年間約 27万円



#### 年間の手形発行作業に係る人件費

1人×5日間×@￥20,000×12か月 = 120万円  
(チェック、発行、押印、郵送など)

## 4. でんさい導入の理由

以前より得意先からの「でんさい」受取実績があり、  
電子的処理の利便性は認知していた。

平成28年10月に本社移転の計画があり、  
手形集金の来社対応時のセキュリティが検討課題となつた。

「でんさい」に切り替えれば・・・



来社対応が不要となり、  
さらにコスト削減が可能になる？



「でんさい」の導入を検討！



関東建設工業株式会社 5

# 5.でんさい本格稼働に向けての取組み（スケジュール）

	27年10月	28年2月	~4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
社内勉強会 (総務経理部内)	★														
		★													
社内決定		★													
案内状送付			★												
IB初期設定							↗	直近3か月取引先（約1,500社）に案内							
でんさい支払開始										↗	✓ 取引先に連絡のうえ切替を呼びかけ ✓ 利用者番号等の取引先情報を登録				
システム改修								✓ 支払通知書、会計システムの変更 ✓ 一括請求対応のための改修検討	↗	★	支払開始（28年11月）				

本格稼働



## 5. でんさい本格稼働に向けての取組み（検討・準備）

---

- ・金融機関を招いて「でんさい」の基本的な知識を勉強
- ・金融機関のHP内で提供されている体験版を利用し、実際の操作方法を体験  
⇒「でんさい」の知識・操作方法を総務経理部内で認識共有
- ・導入によって発生するメリット・デメリットを整理  
⇒コスト試算、事務・決済合理化できる点を整理。特に支払条件やでんさいによって新たに発生するコスト等を整理。
- ・支払業務フローの検討、変更  
⇒支払通知書、会計システムの変更  
(利用者番号・でんさい支払項目の追加、勘定科目・自動仕訳追加)



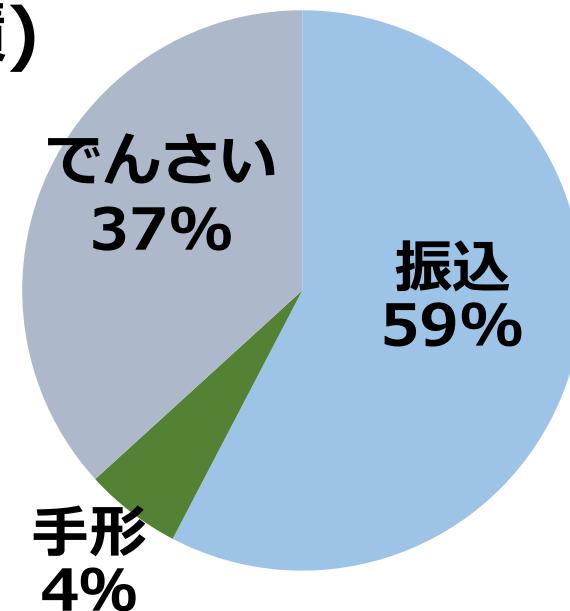
## 6.でんさい導入による効果

- 銀行振込による支払件数・・・59%
- 約束手形による支払件数・・・4%
- でんさいによる支払件数・・・37%

### 1ヶ月あたりの支払件数(平成28年11月実績)

■ 振込	320件
■ 手形	31件
■ でんさい	204件

印紙代年間 約 40万円 ▲360万円削減  
手形帳購入費 約 3万円 ▲ 24万円削減



### 年間の手形発行作業に係る人件費

1人×1日間×@ ¥20,000×12か月 = 24万円 ▲96万円削減

## 7. 良かった点

---

- 手形集金日の来社対応がなくなった  
⇒セキュリティが高まり、また、業務量も減った
- 手形作業時間が大幅に減り、本来の業務（経理）に専念できる  
⇒特に気を使う押印、封入作業等の誤作業の確認点検作業が減った
- 当初の見込みどおり、経費削減ができた（特に印紙代）  
⇒業績に貢献！
- 取立忘れ、紛失の対応が減った  
⇒予定外の業務の発生を抑制できた

## 8.苦労した点と対応

---

- **でんさいの操作方法・専門用語に戸惑ったほか、金融機関ごとの入力画面・帳票類・操作可能時間帯の違いに苦慮した**  
(対応) 銀行のコールセンターを利用したり、でんさいネットのウェブサイトで一つ一つ確認して解消
- **取引先からの問い合わせ対応**  
金融機関担当者から「詳しいことは分からない」という回答があったという問い合わせも…
- **取引先登録情報の入力**
- **1件1件の操作(仮登録・承認)が思っていたよりも大変**  
(対応) 一括請求できるように会計システムを改修して解消



## 9.最後に

---

- 総論

でんさいに切り替えたことにより、**事務効率化、コスト削減を、はっきりと実感できています。**

- 今後の課題

- ✓ 手形での支払先がまだあるので案内を継続していく
- ✓ 手形支払先以外への支払いにも活用を検討していく

- でんさいの導入を検討している皆さんに伝えたいこと

- ✓ 金融機関毎に手数料が違う
- ✓ 「でんさい」は、支払側からではなく、受取側から始めるのがより簡単でスムーズな取り運びとなる



ご清聴ありがとうございました。

 関東建設工業株式会社